

ちやんぎつタイムズ2660

発行日：2022年11月12日
発行所：三越伊勢丹グループ労働組合静岡伊勢丹支部
発行者：鈴木 恵
問い合わせ：内線 2660 外線 054-252-9825
✉ shizuoka_isetan@imgu.or.jp

2022年12月賞与要求について 満額回答

労使協議会

労使協議会 11月11日(金)

出席者【会社側】秋野代表取締役社長/勝山取締役営業統括部長/望月取締役総務・経営企画部長
【組合側】大木支部執行委員長/鈴木支部副執行委員長/森田支部書記長/渡邊支部書記次長

要求書の提出



回答書の受諾



満額でのご回答ありがとうございます。12月賞与について減額せずに要求できたことは、賞与のことだけでなく、黒字化が見込める経営状況に少しほっとしています。メンバーにもそのことを伝えられることは嬉しく思います。

次は6月賞与を増額要求できるかどうかですが、まさに今から1月までの繁忙期、そしてその先の3月まで、どれだけみんなで頑張れるかだと思っています。会社側が状況や施策を丁寧に伝え、従業員を導いてくださっていることは有難く感じていますし、また実行し達成するという決意の表れだと思っています。私としては、リスクもありますので楽観視はせず、慢心せずに確実にすすめていけたらと思っています。

会社からは様々なことを発信して頂いていますが、メンバーにはまだまだ不安や疑問もあると感じますので、組合としても伝えながら、業務に向かい、お客さまに向き合っていけるようにしたいと思っています。引き続きご指導をお願いいたします。



大木支部執行委員長

12月賞与に関しては、業績という事ではなく基本的な形として、満額回答をさせて頂きました。

しかし、大事なのがこれから先になります。計画上は年度予算が達成できれば従業員に還元できるように組み立てています。それに向かって労使一体となり、いかに業績を伸ばしていくのが大切です。

上期終了時点では、概ね計画通りに進み、計画通りに進めば良いのですが、10月は予算を下回り、11月は現時点で予算比90%を下回っています。これから1月までの間で黒字を作らなければ年度予算を下回る状況になりかねません。だからこそ、これから3ヵ月が踏ん張りどころとなります。延刻など様々なことがありますが、風通し良く現場で課題解決しながら良い結果を残し、最終的には労使で笑って握手が出来るようにしたいと思っていますので、引き続き、よろしくお願ひします。



秋野代表取締役社長

支部評議員会・限定メンバーズVOICE開催

支部評議員会

11月2日に支部評議員会を開催し、2022年12月賞与要求について支部評議員(大会代議員)の皆さんに審議して頂きました。
熱心な議論の結果、満場一致で可決しました。



限定メンバーズVOICE

12月賞与要求のメンバーズVOICEを対話型と動画説明にて行いました。

【期間】2022年10月28日(金)～11月1日(火)

【参加人数】152名(参加率約69.1%)

要求内容についての意見はありませんでしたが、評価の納得性や基本賞与支給箇月を上げてほしいなどの声がありました。

2022年12月賞与のついでメンバーズVOICE
説明動画は引き続き、組合ホームページにてご覧頂けます

ホームページはログインをしてご覧ください

【ユーザー名】企業コード(18) + 従業員コード(8桁)

【パスワード】ご自身の西暦生年月日



秋野さんと話そう♪

秋野さんと執行部で対話会を行いました。

お話した内容をメンバーの皆さんにも知って頂けるように組合HPにて動画を公開しています是非ご覧下さい。

《第1回目の内容》

- * 秋野さんのこと
- * 静岡のこと
- * 静岡伊勢丹のこと
- * 秋野さんからの質問



労働組合公式LINE@を登録しよう♪

労働組合公式LINEにお友達登録して頂くとメンバーズVOICEの説明動画視聴や広報誌や共済会の情報を知るために便利です

追加をタップし、お友達登録をして在籍企業「静岡伊勢丹」を選択し送信



登録は
「こちらから」



公式LINEは他の登録者に自身のアカウントを知られることはありません👍

10月より第10期がスタートしました

10月から第10期として新しい活動がスタートしました。本部方針と第9期の反省を踏まえて支部の運動方針を元に1年間活動します。今期は引き続き職場委員会やVOICEなどの現場活動を中心に行い、状況をみながらコミュニケーションの図れるイベントなども実施したいと考えています。

皆さんの組合活動へのご理解ご協力、よろしくお願いします。

静岡伊勢丹支部 第10期（2022・2023年度）運動方針（案）

<環境認識>

- ・ 2021年度は黒字の確保を最優先にメンバー全員で取り組みました。しかし、当初想定していた売上高まで回復することが出来ず、黒字までわずかに届かない、二期連続赤字という非常に厳しい結果となりました
- ・ 2022年度に入りグループの方針に基づいた会社の方針説明があり、共有が図られました
- ・ 第1四半期が終了した時点で、売上高は前年超え予算未達の状況が続いている一方、営業利益は予算を達成しています
- ・ しかし、売上高が予算に届いていないため、経費を削減し手数料収入等で利益を確保するといった状況が続いています
- ・ コロナ感染症の影響は引き続き大きく、流行の拡大によって売上と入店客数が大きく左右される状況が続いています
- ・ 販管費については、人件費や宣伝費で削減を続けているものの、燃料費高騰等の影響で電気料金が上昇し、営業利益に影響が出る可能性があります
- ・ 働き方については、正しい時間管理の徹底を進めており、適正に時間管理が行われることで今後の業務改善に繋がり、最終的に長時間労働の撲滅が出来る環境になると捉えています

<第10期運動方針の考え方>

- ・ メンバーの意見をもとに、人事制度や働く環境の課題を解決できるように、執行委員が主体的に活動に参画し評議員や職場委員と連携しながら、メンバーが主役となる取り組みを行います
- ・ 具体的には、評議員や職場委員にはそれぞれ制度や働く環境について現場の声をよく聴いてもらい、執行委員が担当職場区の評議員や職場委員と深くつながりを持ち対話することで、それぞれの理解を深め、より良い制度や環境づくりに繋がるようにしていきます

<VOICEサイクルの取り組み>

聴く	<ul style="list-style-type: none">・ 職場委員会は毎月1回開催し、人数と時間を増やすことで、より広く深く意見を聴いていきます・ サテライトVOICEは3ヶ月に1度は拠点ごとに行い、職場委員会で聞き取れなかった意見を集約します
話し合う	<ul style="list-style-type: none">・ 評議員会や職場委員会で得られた声からどのような課題があるのか執行委員会で話し合います・ また、それらの課題を前向きに解決していくにはどのようにすれば良いのか議論していきます
伝える	<ul style="list-style-type: none">・ 執行委員会で議論した内容については、会社に提言して解決に繋げるものと、組合が現場のメンバーと一緒に解決に繋げるものに分類し、会社に伝えるべき内容については、経営懇話会や安全衛生委員会などで会社に伝えます・ 組合が現場のメンバーと一緒に解決に繋げた内容については、ホームページやVOICEを通じてメンバーと共有を図っていきます
知らせる	<ul style="list-style-type: none">・ 会社に提言した内容や会社からの返答については、ホームページや定期的に発刊する広報紙でお伝えし、実際に改善に繋がった内容についてもお伝えします



※ VOICEサイクルイメージ

<重点取り組み項目>

① 経営対策活動	<ul style="list-style-type: none"> メンバーが知りたい会社の動きを確認するとともに、メンバーの声や想いを会社に伝える。 会社の状況を正しく伝え、広報活動を通じて理解促進に繋げる。
	<ul style="list-style-type: none"> 会社の動きに対してメンバーがどのように感じているか会社に知ってもらうために、毎月定期的に職場委員会を実施します。職場委員会の内容については執行部内で議論し、なるべく生の声として経営に伝えていきます 経営懇話会の内容や職場委員会で得られた声、経営に伝えた内容、会社からのレスポンスなどをメンバーに知ってもらうために、ホームページなどを通じてメンバーに拡散・共有し、会社の状況の正しい理解に繋げていきます
② 労働福祉活動	<ul style="list-style-type: none"> メンバーのモチベーション維持向上に繋がる制度となるように労使通年協議を進める。 適正な時間管理の推進を中心に、働く環境の整備を進める。
	<ul style="list-style-type: none"> 中長期的なモチベーションの維持向上に繋がるように、社員ステージCとメイト社員の人事制度を3階層の賃金構成に改定します 安定した賞与支給に繋がるように、課題のある業績加算の在り方を整理し、基本となる支給表の見直しができるか検討します メンバーのワークライフバランスが充実するように、所定労働時間の短縮を行います 課題の多い時間管理が適正に行われるように、時間管理ガイドブックを作成しメンバー全員に配布します 多様な働き方が可能となるように、労使で研究検討を進めます
③ 広報活動	<ul style="list-style-type: none"> 活動を一人でも多くのメンバーに知ってもらう。 メンバーが知りたい情報を、わかりやすく、すぐに知れる仕組みをつくる。
	<ul style="list-style-type: none"> メンバーが会社の状況を正しく理解できるように、職場委員会や経営懇話会などの内容をホームページと社内掲示板を中心に発信していきます。また、ちゃっきりタイムズ特別号を作成し、メンバーの皆さんの手元に届くように紙で配布します ホームページや掲示板への広報発信に合わせて、会社のTeamsやLINEを使って通知をしています メンバーが組合からの情報を簡単に受け取れるように、LINEの登録促進キャンペーンを実施します
④ その他の活動	<ul style="list-style-type: none"> メンバーがコミュニケーション向上や絆づくり、知る、共有することを実感できるような活動を実施する。
	<ul style="list-style-type: none"> 新入社員を対象としたフレッシュプランは第9期に見直しを行った内容をベースに実施、入社5年目を対象としたセカンドプランはコミュニケーション向上に繋がる講義を実施、本部連携のCLP40とCLP50を40歳及び50歳を対象に実施します。また、自らが受けたいときに受けられる教育の告知を広報活動と連携して実施します メンバーが楽しく盛り上がる場づくりとして、年に2回レクを実施します（ドッジボール大会、ボウリング大会など） 社会貢献活動は、支部支援先の「いこいの家」へのクリスマスプレゼント寄贈とボランティア支援、広島への折り鶴献納、愛の募金活動を継続していきます ダイバーシティ推進として、育児勤務からの復帰者VOICEや育児勤務者VOICEを実施します

<第10期支部予算について>

費目	予算(円)	前期実績(円)	前期比
静岡伊勢丹支部活動費	1,650,000	242,941	679.2%
	<ul style="list-style-type: none"> 第10期については、経営対策と時間管理に関する活動を中心に予算を組み立てます 職場委員会はより多く議論が出来るように人数規模と時間を拡大して行います 執行部のレベルアップと他支部との交流を目的に合同執行委員会を年に1回以上実施し、労働福祉に関わる勉強会などを実施します 時間管理が正しく行われるように時間管理ガイドブックを作成してメンバー全員に配布します 新入社員を対象としたフレッシュプラン、入社5年目または転換5年目を対象としたセカンドプランは定期的に行います 支部独自の支援先である「いこいの家」へのプレゼント寄贈、メンバーが楽しめるレクを年に2回は実施します 		

本部の運動方針や活動報告については、広報誌「IMGUメッセージ」でご覧頂けます。
IMGUメッセージ 2022 年度定期本部大会特別号➡

